

論文審査の結果の要旨および担当者

報告番号	※	甲	第	号
------	---	---	---	---

氏 名 大橋 亜由美

論 文 題 目

FAMILY SUPPORT FOR WOMEN'S HEALTH-SEEKING BEHAVIOR:
A QUALITATIVE STUDY IN RURAL SOUTHERN EGYPT (UPPER
EGYPT)

(女性の健康希求行動に対する家族のサポート：エジ
プト南部農村地域における質的研究)

論文審査担当者

主 査

名古屋大学教授

委 員 濱 嶋 信 之 

名古屋大学教授

委 員 石 井 晃 

名古屋大学教授

委 員 植 村 和 正 

名古屋大学教授

指 導 教 授 青 山 温 子 

論文審査の結果の要旨

開発途上国における女性の健康改善には、保健医療サービスへの物理的アクセスに加え、女性の健康希求行動の決定要因を明らかにすることが重要である。これまでに蓄積されてきた研究では、家族のサポートが女性の健康希求行動に影響を与えていることが示唆されており、エジプトは一般的に大家族社会であり、夫や義母が既婚女性の健康希求行動を決定する重要な要因の一つと考えられる。

本研究の目的は、エジプトの農村部における女性の健康希求行動（妊娠・出産・産後の場合と、女性と子どもの下痢、発熱、咳等の一般的不調の場合）に対する家族（特に夫と義母）の影響とサポートについて質的研究の手法を用いて検討することである。





本研究では、村のヘルス・ユニットのスタッフによって選出された、1) 5年以内に出産を経験した女性グループ、2) 子どものいる男性グループ、3) 孫のいる女性グループの3グループ（合計16名）を対象に、フォーカス・グループ・ディスカッションを行った。アラビア語から英語に翻訳されたディスカッションの記録をフレームワーク・アプローチの手法を用い質的分析をした。その結果を要約すると以下のとおりである。

1. 妊娠・出産に関する受診は女性の判断によるものが多かった。また、女性や子どもの一般的不調の場合には、民間療法や市販薬を試し、症状に応じて段階的にヘルス・ユニットやクリニック、病院などの医療機関を受診していた。
2. 妊娠や出産、女性自身や子どもの下痢、発熱、咳等の一般的不調の際の健康希求行動の決定には、女性、夫、義母の間において、それぞれ一定のコミュニケーションのパターンが見られた。いずれの場合も夫婦間での相談が重要であり、義母の関与は限定的であった。
3. 妊娠・出産・産後の期間においては、女性たちは自分の母親など女性親族から家事などのサポートを受けていた。一方、女性が下痢、発熱、咳等の一般的に不調を訴えた場合、夫方女性親族や自身の女性親族または近所の女性たちから家事などのサポートを受けていた。

本研究では、エジプト南部農村地域における女性の健康希求行動の決定には、夫とのコミュニケーションが重要であり、義母の影響力は限定的であること、さらに家族関係を越えて女性が有する親族や近隣住民との社会的関係も影響を与えていることが明らかになった。これらの結果は、今後開発途上国における女性の健康希求行動を促進する要因に関して、重要な知見を提供した。

以上の理由により、本研究は博士（医学）の学位を授与するに相応しい価値を有するものと評価した。

試験の結果の要旨および担当者

報告番号	※甲第	号	氏名	大橋 亜由美
試験担当者	主査	濱嶋信之  石井 晃  植村和正 		
	指導教授	青山温子 		

(試験の結果の要旨)

主論文についてその内容を詳細に検討し、次の問題について試験を実施した。

1. 開発途上国の女性の健康希求行動の決定要因とその課題について
2. 社会医学系分野における質的研究手法とデータ分析について
3. 国際保健医療学における本研究の意義付けについて

以上の試験の結果、本人は深い学識と判断力ならびに考察力を有するとともに、国際保健医療学一般における知識も十分具備していることを認め、学位審査委員合議の上、合格と判断した。